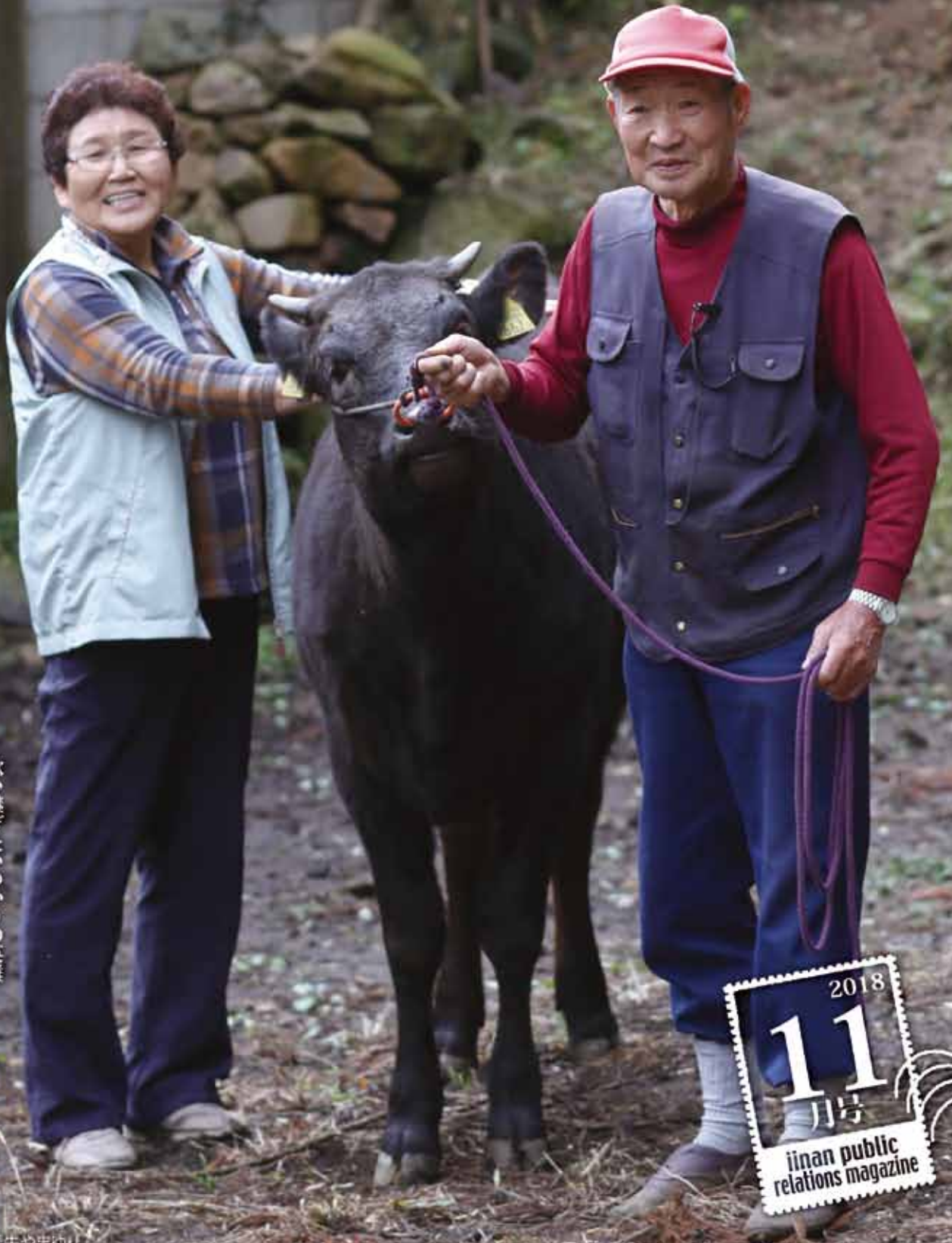


「笑顔あふれるまち 飯南町」

# いーなん



いーなん 飯南町広報 平成30年11月20日 No.167



歌い継ぎたいゆかりの英雄  
野見宿禰ここにあり

2018  
11  
月号  
iinan public  
relations magazine

# 野見宿禰ここにあり

## 相撲の元祖の誕生

奈良時代の歴史書、日本書紀に、當麻蹶速と野見宿禰の命を懸けた取組が記されています。

大和国(現奈良県)にいた當麻蹶速はとても力の強い人物で、「俺ほど力のある者は他にいるのか」と豪語するほどだったという。その頃、国を治めていた垂仁天皇は、「出雲国に野見宿禰という大変力の強い人物がいる」と聞き、野見宿禰を大和国に呼び寄せ、當麻蹶速と力比べをさせることにしました。

2人は向かい合って力いっぱい闘い、野見宿禰が當麻蹶速を倒しました。のちにこの対決は、奈良時代に始まった7月7日の宮中行事相撲節会の起源とされています。

江戸時代に庶民向けの興行相撲が盛んになると、力士らを描く相撲絵が人気を呼び、當麻蹶速と野見宿禰の取組は、多くの絵師が題材としました。そして、2人の対決が相撲の起源として広く語られるようになりました。

また、10月13日には、相撲甚句の愛好家などが甚句を発表する2年に一度の大会「全国相撲甚句大会」が飯南町で開催されました。野見宿禰赤名相撲甚句会をはじめ、地元島根県や青森県、東京都、長崎県などから14団体、159人が集まり自慢の声を披露。町内外からの来場者など約250人が聴き入りました。



拍子木をたたく半田さん

## 若い人もぜひ歌ってほしい

野見宿禰赤名相撲甚句会の会員は、現在、50〜70代の10人。やはり後継者の不安はあるという。

「毎月、第2・4水曜日の月2回、赤名農村環境改善センターで練習しているので、興味のある人はぜひ見に来てもらえれば。口を大きく開けて、腹から声を出す練習をするので歌もうまくなる」と赤穴さん。若い人から高齢の人まで広く募集しているとのこと。

日本の国技「相撲」。その起源は、今から2千年近く前にあった、命を賭した闘いだといわれています。この闘いの当事者のひとり、出雲国にいた「野見宿禰」。相撲の元祖といわれる野見宿禰のルーツをたどると、そこには飯南町があった。



8月18日には野見宿禰をたたえる顕彰碑が野見野の地に完成

## 歌い継ぎたいゆかりの英雄

# 野見宿禰ここにあり

## 出雲大社と飯南町

出雲国風土記の飯石郡条に、「野見野」という地名が登場します。風土記によると、野見野は現在の飯南町上赤名の呑谷周辺であるとされています。また、野見野一帯は、野見宿禰の支配地があったと伝えられ、飯南町と相撲の元祖 野見宿禰のつながりを示し、そのルーツが飯南

町にあることを表しています。

さらに、野見宿禰は出雲国を支配していた出雲国造の先祖。つまり、現在、出雲大社の宮司を務めている千家家の祖先ということになります。学問の神様として知られる菅原道真や、戦国武将の毛利元就の祖先にもあたるといわれています。

野見宿禰は、日本最大級の大きさの出雲大社神楽殿の大しめ



上赤名にひろがる平野

縄と並び、出雲大社と飯南町を結びつけるもうひとつのキーワードなのです。

## 相撲甚句でまちおこし

大相撲の巡業などで、力士が土俵上で披露する七五調の囃子歌「相撲甚句」。江戸時代末期から、力士の間で歌われてきました。

平成23年2月、この相撲甚句と野見宿禰でまちおこしをと、町内の有志10人が集まり、「野見宿禰赤名相撲甚句会」が結成されました。

「野見宿禰のルーツがこの地にあることはまちの誇り。町の皆さんはもちろん、多くの人に知ってほしい。後世にしっかりと受け継いでいきたかった」と結成当時の思いを話すのは、同会会長の赤穴憲一さん、幹事長の半田眞道さん(半田さんは野見宿禰研究者でもある)。

同会では、地域イベントに出演し野見宿禰のPRに努める一方、福祉施設での公演なども行っています。



甚句を歌う赤穴さん



今後も相撲甚句を通じて飯南町を盛り上げ、将来は、相撲の巡業の誘致、尻相撲の全国大会も開催したいと話されました。

## まちの魅力が甚句にのせて

相撲甚句には、昔から歌い継がれてきた歌のほかに、歌詞にご当地の名所や風習、日々の生活などを取り入れた、ご当地甚句が数多く作られています。野見宿禰赤名相撲甚句会でも、会員作詞の甚句が作られています。

そう考えると、相撲甚句は、力士が相撲の土俵で歌うだけのものではありません。その土地の民謡や文化などと深いかわりの中から生まれ、歌われ、後世の人々に歌い継がれていく、地域の歌の性格を持つものであるといえるかもしれません。

「聞いて面白い、歌って面白い、作って面白い」と赤穴さんは相撲甚句の魅力を話します。みんなが作詞家になれる。相撲甚句の歌声に乗せて、町の文化や誇りが日本各地へ届く。あなたも、まちの魅力や文化をのせて、歌ってみてはいかがだろうか。

今日も、張りのある歌声と「ア、ドスコイ。ドスコイ」の合いの手が飯南の地に響きます。



10月13日に開催された全国相撲甚句大会



秋風に吹かれそよそよと  
コスモス祭

10/14  
日

東三瓶フラワーバレーで「コスモス祭」が開催され、約5900人の来場者で賑わいました。  
平成3年に第1回が開催されたコスモス祭も、今年で28回目。恒例のやまめのつかみ取りや、さつまいも掘り、モデル撮影会には多くの人が詰めかけ、町内の出店者がテントを並べる「うまいものコーナー」にも長蛇の列ができていました。  
また、ステージでは、地元 飯南神楽団が「悪狐伝」などの神楽演舞で会場を盛り上げました。



飯南町のうまいものが並ぶテントには長蛇の列



モデル撮影会に参加の皆さん、モデルの「カノン」さんと一緒に



ピンクや白、60万本のコスモスが咲き誇る



「たか〜い!」高所作業車の乗車体験

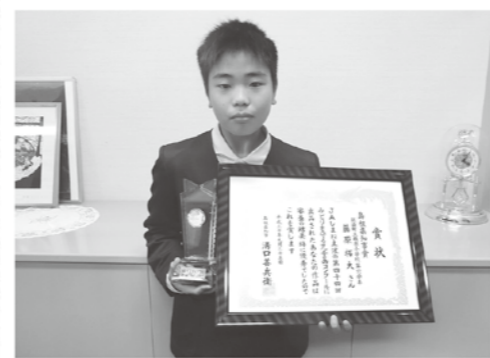
県教育委員会表彰  
教育功労者表彰を受賞

本間美智子さん(花栗は、昭和45年から現在に至るまで、町内の小学校や高校で、書道を指導し、児童生徒の書写の能力向上に大きく貢献されました。  
また、地域の子どもたちや大人を対象とした書道教室を開催し、書道の楽しさを伝える機会をつくり、書道文化の担い手育成に努められました。  
平成28年からは、(公財)独立書人団の審査会員を務めるなど、全国でも活躍されています。



本間美智子さん

みどりを守る児童画コンクール  
藤原拓大さんが県知事賞受賞



藤原拓大さん

J A しまねが主催する、「みどりを守る児童画コンクール」で、頓原小学校の藤原拓大さん(6年)が最優秀賞の県知事賞を受賞しました。  
コンクールは、地域の農業に関心を持ち、食の重要性や農業・農村が果たす役割への理解を深めてもらうと開催されています。  
画用紙いっぱいの子牛を描いた藤原さんの絵が、県内123の小学校、784点の応募の中から選出されました。

銀座、京都など全国のAKOMEYA店舗で  
「お福米」の販売始まる

10月20日(土)から、関東・関西など全国8店舗のAKOMEYAで、町内産の特別栽培米コシヒカリ、その名も「お福米」の販売が始まりました。  
「お福米」は、お米を購入する人のニーズを知る(株)サザビーリーグ(小売業者)とライスブラザーズ(株)(卸業者、町の米の出荷量や流通について熟知している)JA、そして行政が連携して企画。  
多くの来店者が販売ブースに立ち寄り、販売初日には売り切れ寸前となるほどの好評をいただきました。



町長みずからトップセールスを行いました



秋晴れの空に朱が映える  
紅葉祭

11/3  
土・祝  
11/4  
日

志津見のうぐいす茶屋周辺を会場に「紅葉祭」が開催されました。  
平成16年から始まったもみじの植樹。現在は3千本を超えるもみじが植えられています。  
植樹したもみじの手入れには、254名が来場。大きくなったねなどど当時を懐かしみ、赤・黄・みどりの色鮮やかなもみじが、来場者の目を楽しませていました。



多くの企業の皆さんにご参加いただきました

日本栄養士会  
会長表彰を受賞



大上雅美さん

大上雅美さん(角井は、昭和41年、頓原町学校給食会の発足時から38年間にわたって、栄養士として、学校給食を通じて子どもたちの健やかな成長に尽力されました。また、退職後は、町内外で栄養指導を行うなど、長年にわたり、地域の健康づくりに取り組まれています。  
大上さんは、「受賞は、地域や学校など、支えていただいた皆さんのおかげ。今後も、栄養や食事などを通して健康づくりを、皆さんに伝えていきたい」と話されました。



にぎわうテント



14年前に植えたもみじを親子で見上げる「大きくなったね」

また、企業CSR活動(社会貢献活動)としてもみじの植樹会場や周辺道路の清掃活動も実施。町内外から、26団体120名の参加がありました。

# まちを元気に！ 地域おこし協力隊

町内でさまざまな地域課題に取り組む「地域おこし協力隊」。今月は、飯南高校の丸山誉宝（やまのほたけ）隊長と北村美和子隊長の活動報告です。

この4月で3年目を迎えた丸山です。

「笑顔あふれる町 飯南町」の実現に向けて、地域と学校をつなぐ仕事をしています。主に、地域をフィールドとするキャリア教育「生命地域学」の運営やサポートに携わり、9月には、高校生と一緒に、校外で課題研究のための調査を実施。高校生が地域に一歩を踏み出せるよう、サポートしています。

また、生徒の「やりたいこと」を形にするクラブ活動「生命地域ラボ」では、県外・町外から入学した生徒と町内の生徒が語り合う場、地域の皆さんと交流する場をつくっています。今後も、高校生が「町の魅力を自分の言葉で語れること」を目指し



高校生と一緒に地域に飛び出しています(写真左)

て、サポートしていきます。よろしくお願いたします。



高校生と一緒にボビー祭りに参加(写真左)

今年4月から飯南高校に勤務している北村です。

この夏は、県外出身の6名の生徒が企画・運営した、県外の中学生に飯南町や飯南高校の良さを知ってもらう「森の学校サマーツアー」の運営をサポート。内容は、もりのす、志津見ダム、志都の里、大しめなわ創作館など各所での活動や体験、野菜収穫や民泊体験では、地域の皆さんとの触れ合いと盛りだくさん。中学生はとても喜んでいて、「町の良さを知ってもらいたい」という高校生の思いが伝わったと感じています。こうした高校生の頑張りに関われることを嬉しく感じています。  
志津見で生活していますが、地域の皆さんに温かくしていただき、また、炭窯体験や猪の解体作業をさせてもらったりと、私自身も飯南町の良さを感じています。

平成31年4月1日採用

## 公民館職員募集(公民館主事)

対象

満18歳以上(平成31年4月1日現在の、町内に居住または居住予定の人)、社会教育・生涯学習の推進、地域づくりなどに意欲を持って取り組める人(普通自動車運転免許所持、パソコン操作ができる人、学歴は不問)

受付期間

申込用紙を、平成30年11月26日(月)～平成31年1月9日(水)(平日8時30分～17時)に、町教育委員会または公民館に持参。郵送の場合は、平成31年1月9日(水)必着

国民年金保険料控除証明書

## 年末調整・確定申告まで大切に

平成30年1月1日から10月1日までの間に、国民年金保険料を納付された方には、11月中旬に、「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」が、日本年金機構から送付される予定です。確定申告書の提出の際に、この証明書か領収証書を必ず添付してください。

平成30年10月2日から12月31日

※申込用紙は、町教育委員会と町内各公民館で交付。町ホームページからもダウンロードができます。

試験

平成31年1月20日(日)、教養試験 事務適性検査・面接試験

■問合せ

教育委員会  
電話 76・3944

までの間に、今年はじめて国民年金保険料を納められた方には、平成31年2月上旬に送付される予定です。

■問合せ

出雲年金事務所  
電話 0853・24・0045  
住民課  
電話 76・2213



やまゆり号

竹田原護さんの愛牛  
島根中央家畜市場(松江市宍道町)で開催された、島根中央子牛共進会の肉用種牛の部で、竹田原護さん(真木の愛牛「やまゆり号」)が、グランドチャンピオンに輝きました。  
(県知事賞、県農業協同組合長賞主賞、県家畜商組合理事長賞、県家畜人工授精師協会長賞、全国和牛登録協会島根県支部長賞、県畜産振興協会長賞、JA西日本くみあい飼料株式会社社長賞)  
飯南町の牛がグランドチャンピオンに輝くのは、実に9年ぶり。竹田原さんは、「受賞には驚きました。今後は、この良い状態を維持していきたいといけなので責任もあるが、しっかりと育てていきたい」と話されていました。

## 島根中央子牛共進会で グランドチャンピオンに

10/31 水



受賞を祝して、愛牛と一緒に記念写真



ずらりと並ぶ出品牛、39頭が出品された

## 広域連携協定締結

10/16 火

雲南地域高齢者等見守りSOSネットワーク事業

町では、徘徊等で行方不明になられた方を一刻も早く発見し、事故等を防ぐため、スマートフォンや携帯電話等を活用して、町民の皆さんからの情報提供をお願いする「高齢者等見守りSOSネットワーク」を運用しています。

10月16日に、雲南警察署、雲南市、奥出雲町、飯南町が連携し、メールで情報提供を呼びかける広域連携協定を結びました。

この協定により、隣接する雲南市や奥出雲町にも情報提供を呼びかけ、さらに警察と連携することで24時間365日対応できます。

現在、このネットワークに登録していたらいる飯南町のサポートターさんは、約80名。地域の見守り役としてさらに多くの皆さんの力が必要とされています。ご協力をよろしくお願いいたします。

■問合せ  
あんしんサポートセンター  
(地域包括支援センター)  
電話 72・1770



警察署、3市町で連携

登録方法はこちら

行方不明等の事案が発生した際に、情報提供をお願いするメールが届きます。

- ① iinan-sos@ss-center.net に空メールを送信
- QRコードからも読み取れます
- ② 返信メールの本文中にあるURLを押してサイトに接続  
※メールが届かない場合は、受信拒否設定を確認してください。(ss-center.netからのメールが受信できるように設定)
- ③ 留意事項を読んで登録
- ④ 登録完了メールが届く

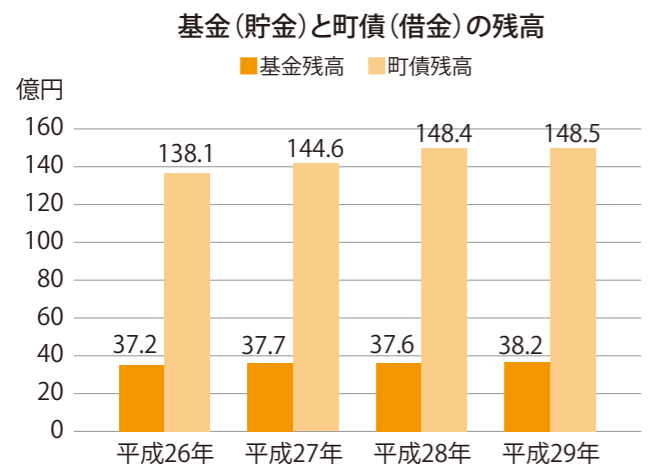
■問合せ/あんしんサポートセンター  
(地域包括支援センター) 電話72・1770



基金(貯金)と町債(借金)の残高

基金は、約38億円で推移しています。平成29年度は、奨学基金や若者女性応援基金、減債基金などに約1億8千万円を積み立てて、ふるさと応援寄附金を活用した事業やふるさとの森運営などのために、約1億2千万円を取り崩しました。

町債は、平成26年度末に138.1億円と町合併後最も少なくなりましたが、平成27年度から増加に転じ、今年度末には約148億円となり、3年連続で増加しました。町は、住宅や道路、水道などを整備するときに、国や金融機関からお金を借りています。(基金・町債残高には、特別会計分を含む)



特別会計

全ての会計で、黒字決算となりました。簡易水道事業では、佐見地区水道敷設工事のほか、杉戸浄水場改修、中央監視装置の整備などを行いました。下水道事業では、浄化槽を新たに10基設置しました。

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額
国民健康保険事業	7億6,162万円	7億3,584万円	2,578万円
後期高齢者医療事業	1億8,716万円	1億8,592万円	124万円
介護保険サービス事業	3,560万円	3,174万円	386万円
簡易水道事業	5億5,755万円	5億5,608万円	147万円
下水道事業	3億8,939万円	3億8,743万円	196万円

病院事業会計

病院事業会計(収益的収支)は、入院患者数の減少などによって収益が減少し、単年度利益はマイナス590万円となりました。病院事業会計(資本的収支)は、電子カルテシステムや各種医療機器の更新、防犯カメラの設置などを行いました。

会計名	収入済額	支出済額	差引残額
病院事業(収益的収支)	10億873万円	10億1,463万円	-590万円
病院事業(資本的収支)	2億1,390万円	2億7,666万円	-6,276万円

※収益的収支は、病院の経営活動に係るもの(料金収入や人件費、施設維持費、薬品費など)  
資本的収支は、施設、医療機器の整備や借入金の返済費用などに係るもの

まちの財政の健康状態を表す指標

実質公債費比率 9.2% (昨年度9.8%)

家計に例えると、年収に対してローンの年間返済額が何割あるかを表しています。

昨年度から0.6%減少し、現時点では健全な状態です。しかし、平成30年度以降は、値が上昇(悪化)していく見込みで、公共施設などの建設には統廃合や複合化など、具体的な判断が必要だと考えます。(この指標が25%以上になると、一部の起債(借金)の借入れが制限されます)

将来負担比率 49.1% (昨年度47.7%)

家計に例えると、生活費や学費、家のローン、子どもへの送り費用など、将来負担しないとけない費用の合計が、年収の何年分あるかを表しています。昨年度から1.4%上昇しましたが、町債残高(借金)が約2,500万円増加したことが原因です。

経常収支比率 93.6% (昨年度92.4%)

人件費や扶助費、借金の返済費用のように毎年度決まって支払われる経費が、税金や普通交付税などの使い道が限定されない毎年度経常的に収入されるお金のどのくらいを占めているかを表しています。

比率が100%に近くなると、自由に使えるお金が少なくなり、財政にゆとりがなくなります。公共施設の維持修繕、扶助費の増加などによって、数値が悪化しました。

町民1人当たりまたは1世帯当たりで見ると

人口 4,940人  
世帯 2,041世帯  
[平成30年4月1日現在]

使った費用【一般会計】

75億2,925万円  
1人 152万円  
1世帯 369万円

負担した税金【一般会計】

4億9,969万円  
1人 10万円  
1世帯 24万円

借入金残高【一般会計】

97億5,717万円  
1人 198万円  
1世帯 478万円

借入金残高【全会計】

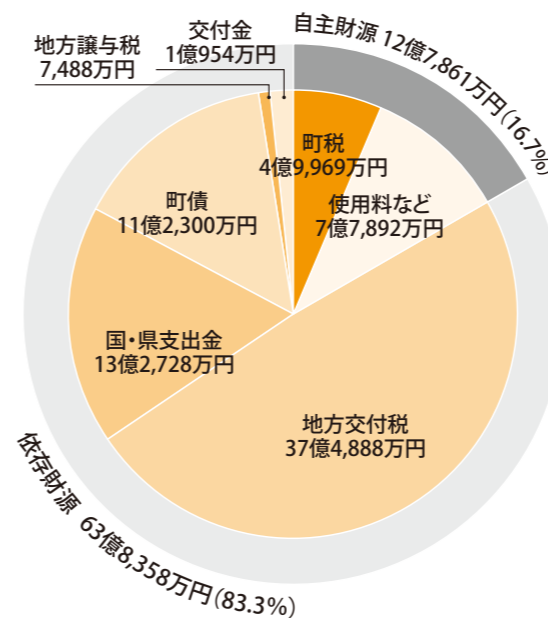
148億4,912万円  
1人 301万円  
1世帯 728万円

基金残高

38億1,579万円  
1人 77万円  
1世帯 187万円

平成29年度 まちの決算

歳入【一般会計】  
歳入合計 76億6,219万円

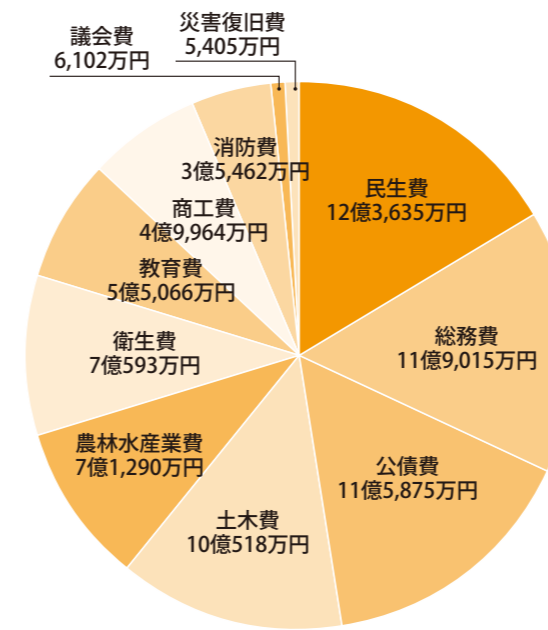


歳入の状況

自主財源は、昨年度と比較して、町税が約7百万円の減少、ふるさと応援寄附金が約8,500万円増加しました。また、依存財源は、庁舎建設や頼原公民館などの大規模建設事業が終了したことから、町債が約5億円減少しています。

歳入全体で見ると、総額の約49%を地方交付税が占めるなど、収入の8割以上を国・県からの資金で賄っています。地方交付税は町合併による加算分が段階的に縮小しており、今後も歳入に見合った財政運営が必要となっています。

歳出【一般会計】  
歳出合計 75億2,925万円



平成29年度に実施した各費目の主な事業 (新規事業など)

- 総務費** 定住促進住宅建設(3棟)、デマンドバス整備(2台)、三江線廃止代替バス整備(1台)、人材確保支援センター設置など
- 民生費** 来島保健センター屋根改修、高齢者福祉、障がい者福祉、子ども等医療費助成、保育所運営など
- 土木費** 町道整備、新衣掛団地1号棟整備、道路除雪など
- 農林水産業費** リースハウス団地整備、堆肥センター大規模改修、農業基盤整備、鳥獣被害防止、町行造林事業など
- 教育費** 赤名小学校大規模改修、スクールバス更新(1台)、頼原球場改修、生涯学習センター解体など
- 衛生費** 医療従事者確保対策助成金、各種健診・予防接種事業など
- 商工費** 琴引スキー場人工降雪機整備、酒づくり交流館大規模改修、観光施設管理運営費用など
- 消防費** 消防普通積載車更新(2台)、防災行政無線整備、空き家等対策計画策定など

総務費…選挙、庁舎維持費、公共交通、地域振興などに使われる費用。  
公債費…町債(借金)の返済費用。  
民生費…保育所や高齢者・障がい者福祉、生活保護などに使われる費用。  
衛生費…予防接種や健康診断、ごみ処理、環境の保全などに使われる費用。

# 健康コラム

保健 医療 介護 福祉

●飯南病院 電話72・0221 ●来島診療所 電話76・2309 ●保健福祉センター 電話72・1770

**運動効果の10項目**

1. 骨が丈夫になる(骨粗鬆症予防)
2. 関節や筋肉が柔軟になる(けが予防)
3. 筋肉が強く、疲れにくくなる(身体能力向上)
4. 心臓や肺が強くなる(病気の予防や競技力向上)

皆さん、こんにちは。飯南病院の角田です。朝晩、冷え込み、体調が崩れやすくなる季節の変わり目。健康の維持・増進のために、日頃どんなことを意識していますか？「運動、二に食事、しっかりと禁煙、最後にクスリ。どこかで聞いたことのあるフレーズから、今回は、「運動」について考えてみたいと思います。

飯南町では、「長生き体操」という健康づくり(運動・栄養・口腔)の取り組みが全町に広がっており、500人以上の人が各地域の集まりに参加し、活発に活動しています。

では、そもそも「運動」をする何が良いのでしょうか？皆さんはどのように答えますか？「スラスラと答えられる人は、かなりのつわもの」です。

今回は「運動効果の10項目」と題して紹介します。

このように、運動は、子どもからお年寄りまで、全世代にさまざまな効果をもたらします。でも、大切なことは、「楽しむこと」と「無理しないこと」。

一般的に、健康増進の運動療法は、週に2回以上30〜40分程度、息が弾むくらいの運動が良いとされています。やらされる、つらい運動は逆効果になることもあります。年齢や個人差、運動目的、環境によっても違うので注意が必要です。(準備運動も大切)

未来志向で、運動やスポーツを「健康づくり」「ひとづくり」「まちづくり」に活かせるような取り組みができればいいなと考える今日この頃。キーワードは「老若男女全世代参加」です。

## 保健福祉センター

11月14日は世界糖尿病デーです  
町内では5人に1人

糖尿病は、今や世界の成人人口のおよそ8.8%、4億1500万人が抱える病気。飯南町でも、糖尿病の有病者や予備軍者が多い状態が続いています。飯南町の糖尿病有病率(H28年度国保特定健診データ)

	有病率	順位	県平均
男性	19.7%	ワースト2位	11.7%
女性	6.4%	ワースト7位	5.8%

※有病者…服薬有or服薬無で空腹時血糖126mg/dl以上またはヘモグロビンA1c6.5%以上  
※ワースト順位は県内19市町村中

### 糖尿病はどんな病気か

糖尿病は、血液中のブドウ糖(糖分)が多くなる病気。この状態が続くと、血管が傷つき、放置すると失明の原因となる「糖尿病網膜症」や、透析治療が必要となる「糖尿病腎症」などの合併症を起こす可能性があります。

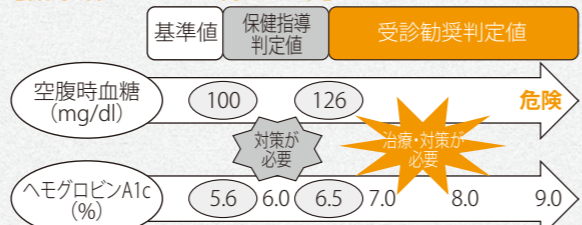
何回かの検査を組み合わせで診断しますが、特定健診では、空腹時血糖値100mg/dl以上またはヘモグロビンA1c5.6%以上を高血糖の基準としています。

### 生活習慣を見直して予防

予防には、カロリーを取りすぎない、運動をする、アルコールを取りすぎない、タバコを吸わない、野菜や大豆製品や海草やきのこなどを多く食べるなどの、生活習慣に関わることを挙げられます。特に、砂糖の入った飲み物をよく飲むという人は、糖尿病のリスクを高めるといわれているので注意が必要です。

定期的に健診を受け、生活習慣に気をつけて、糖尿病を予防しましょう。

### 【糖尿病(高血糖)の判定基準】



※ヘモグロビンA1cは直近1〜2か月の血糖値を反映した値

## 飯南病院 便り

運動は「楽しむこと」「無理しないこと」  
院長 角田耕紀



中学3年生。バスケットボール県大会、中国大会で優勝し、全国大会に出場



集落営農組織での水田放牧の様子

こんにちは  
中山間地域研究センターです。

## 集落で「放牧」に取り組んでみませんか？

●中山間地域研究センター  
電話 0854・76・2025  
<http://www.pref.shimane.lg.jp/chusankan/>



谷地区集落支援員の澤田定成です。

## 中間支援組織「谷楽笑の里」を立ち上げ

谷楽笑校に常駐して、谷自治振興会の事務補助や施設の管理業務など、地域のさまざまな活動を支援しています。また、県内外からの視察来校者への地域紹介、大学ゼミ生の地区内での体験活動の案内などをしながら、谷地区をより身近に感じてもらえるよう、取り組みや魅力を伝えています。

谷地区では、本年2月に「T型集落点検」を実施しました。その報告を基に、地域外で暮らす出身者との関わりをより身近にしていこうとをきっかけ



明治学院大学の学生が神楽を体験

放牧は、水田や里山、山林などさまざまな場所で行えます。畜舎作業の省力化や飼養管理コストの低減など、畜産農家のメリットだけでなく、農地の保全や獣害の軽減、地域の活性化等、地域全体へのメリットも大きい取り組みです。

また、近年のコメ政策の見直しに伴う新たな経営部門として、県では、集落営農組織等による集落放牧を積極的に推進しています。

当研究センターでは平成22年から、放牧用の資材や牛のレンタル、放牧未経験牛の馴致(慣れさせること)など、地域

で取り組む放牧の実践を、各地域の農林振興センター農業普及部と共に、延べ66集落を支援してきました。町内でも、自ら繁殖和牛を飼育し、放牧を経営に取り入れた集落営農組織もあり、徐々に広がりつつあります。

この取り組みを、当研究センターも引き続き支援していますので、活用をお考えの集落がありましたら、雲南事務所農業普及部か、当研究センター資源環境科までお問い合わせください。

■問合せ  
資源環境科 電話76・3816



当研究センターでの電牧線馴致の様子

## 住みよいまちへ 集落支援員

町内5地区で活動する、地域とともに歩む「集落支援員」の活動を紹介します。



みんなで机を囲んでT型集落点検

長崎県の東彼杵町から視察に

年末しまねジャンボ企業博

**対象** 大学、短期大学、高等専門学校、専修学校等に在学中の学生  
**日時** 12月28日(金)11時～16時  
**会場** くにびきメッセ  
**内容** ①「ライバルたちに差をつける！ インターンシップ情報先取り トーク」(11時～12時30分)  
 ②「合同企業説明会(運命の出会い！ 大くじ引き企業めぐり、企業ブース訪問 タイム)」(13時～15時40分)  
 ③「参加企業協賛・年末しまね大抽選会(15時40分～16時)」  
**参加企業** 170社程度、11月中旬頃「ジョブカフェしまね」のホームページに掲載  
**問合せ** ジョブカフェしまね  
 電話0120・67・4510

<https://www.gogo-jobcafe-shimane.jp/>

福祉・保育のお仕事相談会・面談会 in 雲南

**対象** 雲南圏域の福祉事業所に就職を希望する人(年齢制限なし)  
**日時** 12月6日(木)14時30分～16時  
**会場** 雲南市役所  
**内容** 個別就職面談、福祉の仕事説明、資料情報提供、相談コーナー(ハローワーク・人材センター)  
 ※参加無料、申込不要、入退場自由、服装自由、お子さま連れでの参加も可

**問合せ**  
 (福)島根県社会福祉協議会  
 電話0852・32・5957

特設人権相談所

相談は無料で秘密は守ります。お困りのことがありましたらご相談ください。

**日時** 12月5日(水)10時～13時

**会場** 飯南町役場 保健福祉センター  
**問合せ**  
**住民課** 電話76・2213

放送大学4月生募集

放送大学では、平成31年4月入学の学生を募集しています。  
 放送大学は、テレビ等の放送やインターネットを通して学ぶ通信制の大学です。  
**出願期間**  
 ・第1回募集 平成30年12月1日(土)～平成31年2月28日(木)  
 ・第2回募集 平成31年3月1日(金)～3月17日(日)

家屋の「新築・増築・取り壊し」をしたら届け出を

固定資産税は、毎年1月1日賦課日現在に所有している土地や家屋等が課税対象となります。  
 平成31年度の固定資産税に反映するため、平成30年中、もしくはそれ以前に、家屋の新築・増築・取り壊しをしていて、役場の家屋調査を受けていない場合は、住民課まで連絡をお願いします。

**問合せ**  
**住民課** 電話76・2213

自治体共同公売会

資料(無料)の請求は、放送大学島根学習センターまたは放送大学ホームページまで  
**入学説明会・相談会**  
**日時** 平成30年12月16日(日) 平成31年2月23日(土) 各13時  
**会場** 出雲中央図書館  
**問合せ**  
 放送大学島根学習センター  
 電話0852・28・5500

公売物件

地方税等の滞納者から差し押さえた財産の公売会を開催します。  
**参加資格** 20歳以上の人。本人確認書類(運転免許証など)が必要  
**日時** 12月9日(日)10時～13時  
**会場** 島根県松江合同庁舎(2階講堂) (松江市東津田町17411)  
**剥製、置物、インテリア瓶など**  
**落札者** 当日14時30分に公売会場で揭示  
**買受代金** 当日15時までに公売会場で支払い  
**問合せ**  
**住民課** 電話76・2213

2019年版 島根県民手帳

2019年版の島根県民手帳を販売しています。購入を希望される場合は、役場庁舎各支所窓口で購入してください。

**販売場所** 役場庁舎・頓原基幹支所・来島支所・志々支所の各窓口  
**価格** 一冊550円(税込み)  
**問合せ**  
**企画財政課**  
 電話76・3941



求人情報

Uターン希望者・求職者・事業者のみならず、直近1カ月に登録された、求人の一部を紹介いたします。詳しい内容を知りたい方、このほかの情報もご覧になりたい方は、お問い合わせください。求人情報の閲覧のみも可能です。  
 ※表示のない市外局番は「0854」です。

(株)ラウ 76・3119 森のホテルもりのすの接客、調理補助、清掃、宿直、プライベートスタッフ等	募集人数 1人
島根県農業協同組合雲南地区本部 0854・42・9000 赤来支店の事務、窓口対応	募集人数 1人
(有)ユールニッセ牧場 76・2876 乳牛飼育、搾乳	募集人数 1人
エムズ環境 72・1212 配管工	募集人数 2人
(株)ニチフレ島根 73・0131 製造工	募集人数 2人
(有)ホリエ 72・0102 農林業機械の修理、販売	募集人数 1人
ふくま歯科医院 72・1500 歯科衛生士	募集人数 1人
(有)一福 72・0006 出雲そば・加工食品等の営業	募集人数 1人

(株)後藤建設 72・0103 重機オペレーター	募集人数 1人
土木施工管理技術者	募集人数 1人
建築施工管理技術者	募集人数 1人
頓原精機(株) 72・0147 機械オペレーター	募集人数 1人
(株)ウイズスタッフサポート 0852・25・8801 町内事業所でのデータ入力チェック業務(派遣)	募集人数 1人
(株)ジュンテンドー飯南店 76・9137 商品出し(週4日程度)	募集人数 1人
(株)さんびる出雲営業所 0853・23・0528 琴引の里の清掃(請負・月・水・金)	募集人数 1人
(株)コンビニエンス飯南 76・9290 ローソンボプラ飯南赤名店の店員(週5日程度・7:00～13:00)	募集人数 3人
ローソンボプラ飯南赤名店の店員(週5日程度・13:00～19:00)	募集人数 3人

「景観フォトコンテスト」作品募集

**応募資格** 町民の人  
**応募締切** 平成30年12月28日(金)  
**部門・応募方法** 各部門1人2作品まで(未発表作品に限る)  
**一般カメラの部**(デジタルカメラ含む)  
 2L判にプリントした写真の裏面に、応募用紙を貼り付けて、役場庁舎各支所窓口へ郵送または持参  
**携帯フォトの部**  
 携帯電話で撮影した作品を、メールに添付して左記アドレスまで送信  
**表彰**  
 ・最優秀賞(各部門1点、賞状・賞金・副賞)  
 ・優秀賞(各部門2点、賞状・賞金・副賞)  
 ・佳作(賞状・副賞)

**問合せ**  
**住民課** 電話76・2213

応募用紙(一般カメラの部)

作品名	
住所	飯南町
氏名	
年齢	
電話番号	
撮影場所など	

昨年度【一般カメラの部】最優秀賞『瀬戸山城の米蔵』安田 勲さん

携帯フォトの送り先/beautifultown@iinan.jp

AR動画の視聴方法



飯南町HP QRコード

ARマーク

広報いーなんでは、AR(拡張現実)動画を導入しています。詳しい視聴方法は、飯南町ホームページでご紹介しています。(今月号は3ページに対応写真があります)

町民向け森林セラピー情報

「森林セラピー、一度は経験してみたいけど、足が痛いけんあ」とためらっているあなた。歩くことに自信のない人でも大丈夫です。

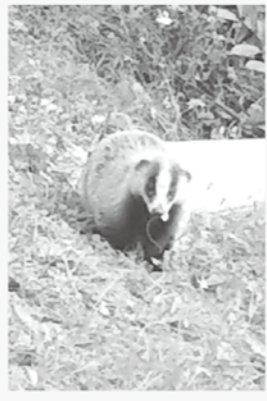
飯南町の森林セラピーのコースは4つ。それぞれを組み合わせることが出来ます。町民向け森林セラピーでは、癒し効果の高いエリアまで送迎も可能。少しだけゆっくり歩いてもそこは、グリーングリーングリーンの世界。ゆっくり過ごしていただけます。



歩かなくても笑顔いっぱい

森林セラピー博字講座

11月に入り、急に、冷え込んできた森林セラピー基地。朝晩の冷え込みも冬のそれに近くなり、私たちはこたつに入ってゆっくりしたくなる頃。そんな中、慌ただしく働いているのは「あなぐま」。飯南町では「まみ」と呼ばれています。今は、冬眠前に食料の調達に忙しいようです。



あなぐまの「まみ」ちゃん

もりのす前の芝生は、管理人さん達により、きれいに整備されていますが、そこがまみの食糧倉庫。ミニ、ズなどの生き物を求めて、きれいに耕して？（掘り起こしています。結構な頻度で会うことができます。ちなみに、まみのお肉は脂がのって大変おいしいそうです。



短歌

赤名短歌会 十月例会詠草

ひめぢよをんの白き群落ゆれてをり残されし吾の幾たび来しや  
暑い寒いの目盛りの上下著し気持ちうらはらに古い忍び寄る  
方形の空暮れそめて中庭を白が舞台として蟋蟀うたう  
小夜更けて露天の風呂の月影に集ひし友らと心満たさる  
病める母に「祝日感を告げたとき言の葉返し君が代唱つる  
夕映ゆるた七瀬守佇めば気まじめ愚かな一雨の降る  
助詞ひと動かすだけで変わらるアしおもしろや短歌の世界  
曼珠沙華と呼べば何やら異国めく丘の夕日がひととき赤い  
秋の野にひっそりと咲く花の如生きてゆきたし残りたるいのちを  
しなやかに繋いで攻める世界ハレー中田ジャンパンの潮気にしびれる

俳句

琴峯華俳句会 十月例会作品抄

黙々と栗剥く夜風聞きながら 安部 豊枝  
いつくしみ今年限りの稲束を解く 石田ツツカ  
子には子の宝でありし木の妻かな 垣内 良野  
あきあかね昔語りをともに聞く 佐々木康子  
山の色淡く変はりて木の美彦 田部智津子  
猪垣もがっちり仕上げ稲実る 森 征子

誰かしら戸口に栗や笑みこぼれ 土池 博子  
吾が丈を夫見失う世波 松平土富美子  
認める一筆こと秋思かな 八嶋 敏江  
鱒雲峡の空には峡の量 山崎智恵美  
この山にこの山の味栗拾ふ 八嶋 昭男

すんやかに

10月届出分

新生児 森山 峻介(あきお) 雄三(あき) 届出人 地区

やすらかに

10月届出分

お名前 寺西 正枝様(78) 親族 地区  
佐々木コスギ様(91) 尚 司(川西)  
森山 千歳様(86) 剛 (町区)

今日の人権標語

「家族でつくる人権標語」優秀作品から

「おはよう」と朝のひと声ステキだね

頓原小3年 森 咲月さん  
家族名 森 理恵さん

標語に込められた思いを町民みんな意識し、差別や偏見のない明るいまちづくりをめざしましょう。

今日の表紙

竹田原さんは、自宅横の牛舎で、親牛2頭、子牛2頭を飼育。「牛の世話」は生活の一部。自然体で飼っている。おとなしい牛です。ねと聞くと、「かわいがってやると、おとなしい性格になるよ」と笑顔で話されました。



飯南町国道54号活性化アクションプラン推進協議会



みんなで作って灯そう スノーキャンドル

設立から10年を迎えた、国道54号活性化アクションプラン推進協議会。しかし、「どんな目的で、どんな活動をしているのか知らない人も多いのでは?本協議会の取り組みを連載で紹介していきます。

■問合せ  
国道54号活性化アクションプラン推進協議会(い〜にゃん人つなぎ協議会)  
電話76・2864(地域振興課)

10月号で、協議会の目的やおおまかな活動内容を掲載しましたが、今月号から各部会の具体的な取り組み事例を紹介していきます。

歴史・文化部会

～飯南町の歴史や文化を伝承～  
歴史・文化部会では、飯南町に伝わる歴史や文化、言い伝えなどを、町内外に伝えていくための活動を行っています。飯南町にしかない唯一無二の魅力を、町の皆さんに再認識してもらいたいという想いで活動しています。

過去の取り組み事例

- ・飯南町マニアック&おもしろ歴史ばなし発行
- ・歴史ばなし勉強会開催

現在の活動

飯南町の大しめ縄にまつわる歴史ばなし(仮称)の制作(いつも財団助成事業)

大しめ縄に関する「なんで?」や、飯南町に連なる山々との関係、野見宿祢との関係等、いろいろと繋がっていく「歴史ばなし」が満載です。大しめなわ創作館の皆さんをはじめ、たくさんの方々にご協力をいただきながら制作は大詰めを迎えています。来春発行予定!ご期待ください!



歴史・文化部会



歴史ばなし勉強会

飯南町マニアック&おもしろ歴史ばなし



# まちのスケジュール

2018年 平成30年 12月分  
 ■教育 + 健康・保健 \*文化・体育 ◆その他



日	月	火	水	木	金	土
11/25	11/26	11/27	11/28	11/29	11/30	1
2	3	4	5	6	7	8
■ 頼原中授業公開日	■ 中学校修学旅行 (沖繩) (~6日)		+ ほっと.Cafe (来島保健センター) 10:00~11:30	+ 乳児健診・育児相談 (保健福祉センター)	* ボルダリング(定期) (交流センターとんぼら) 18:00~20:00	◆ お楽しみ会 (桜ヶ台保育所)
9	10	11	12	13	14	15
	◆ 行政相談 (来島基幹集落センター)		+ ほっと.Cafe (来島保健センター) 10:00~11:30		+ オレンジカフェ (保健福祉センター) 14:00~16:00	■ お楽しみ会 (赤名保育所) * 県ジュニア&親子スキー教室 (小4~中3) (~16日)
16	17	18	19	20	21	22
■ 3校合同クリスマスコンサート (みせん)			+ ほっと.Cafe (食講座) (来島保健センター) 10:00~12:30		■ 小中学校終業式 ◆ はびこ無料結婚相談会 (飯南町役場) 18:30~予約制	
天皇誕生日	振替休日	25	26	27	28	29
						■ 保育終了 (全保育所) ◆ 官公庁仕事納め
30	31	1/1	1/2	1/3	1/4	1/5

し尿汲取り日		資源物		金属類・粗大物		ガラス類	
汲取り地区	汲取り日	収集地域	収集日	収集地区	収集日	収集日	収集日
頼原 志々	7日(金) 10日(月)	頼原	19日(水)	頼原連担地	25日(火)	10日(月)	
赤名	1日(土) 4日(火) 20日(木) 22日(土)			八神連担地	27日(木)	12日(水)	
来島	12日(水) 14日(金)	赤来	26日(水)	頼原・八神連担地以外	26日(水)	11日(火)	
				赤名連担地	17日(月)	3日(月)	
				来島連担地	19日(水)	5日(水)	
				赤名・来島連担地以外	18日(火)	4日(火)	

[頼原地域] 電話72・1401 [赤来地域] 電話76・2441

[いいしクリーンセンター] 電話72・9217

※決められた日時をお守りください。

●町の人口4,913人(前月比-1人) ●男性2,294人 ●女性2,619人 ●世帯数2,057戸 H30.11.1 現在

広報い・なん 11月号

小さな田舎からの「生命地域」宣言  
笑顔あふれるまち 飯南町



スマホで広報紙を  
読みませんか？